

【農学】

◎主な配属先、業務内容

■本庁

流通販売課



- 農林水産物の地産地消や食育の推進、海外への輸出拡大に向けた取り組み支援
- 環境調和型農業の推進や植物防疫業務

福井米戦略課

- 福井県の新ブランド米「いちほまれ」の生産振興やブランド化・販売戦略を企画・立案
- 米の需給調整、麦・大豆・そばの生産振興や販売促進を支援



園芸振興課



- 農業の担い手の育成、園芸生産の振興を支援
- 農地の集積・集約を進め、規模拡大や園芸導入に必要な機械やスマート農業の導入を支援、収益性の高い農業経営への転換を推進
- ふくい園芸カレッジでは園芸分野の就農希望者を受け入れ、就農に必要な研修を行うなど、新規就農者を支援

中山間農業・畜産課

- 中山間地域の農業振興や農村を楽しみながら回遊する「農遊」の推進、伝統野菜・地域特産品、6次産業化の取り組みを実施
- 鳥獣害対策の推進や、若狭牛や福地鶏などのブランド畜産物の生産振興により、畜産振興を支援



農林総合事務所（農業経営支援部）



- 担い手の確保・育成、農業者への農作物の収量・品質向上のための技術指導・効率的で安定的な経営に関する指導、水田農業・園芸の産地育成に関する支援、6次産業化や販路開拓へのアドバイスなどの普及活動を実施
- スマート農業の導入や経営規模100ヘクタールを超えるメガファームの育成、ミディトマトなどの大規模周年施設園芸農家へ新しい技術を指導

農業試験場・食品加工研究所

- 水稻の新品種の開発や高収量・高品質に繋がる栽培技術、食品加工の技術開発
- 次世代技術や環境にやさしい栽培技術、病虫害防除技術を開発
- 園芸研究センターでは野菜・果樹・花きの品種育成や気候変動に対応した栽培技術、ICTを活用したスマート園芸技術などを研究



畜産試験場



- 福井県のブランド畜産物である若狭牛・ふくいポーク・福地鶏や県産牛乳の品質向上に関する飼養管理技術の開発、牛受精卵や福井県に適した飼料作物の栽培試験
- 嶺南と奥越に位置する2か所の牧場では、乳牛育成や若狭牛の子牛を生産し、畜産農家に供給

【農学】平成30年度採用



農林水産部 政策推進グループ

井上 真依

(福井県立大学大学院 生物資源学研究科生物資源学専攻修了)

【主な担当業務】

- ・福井県の農業政策の推進計画である「新ふくいの農業基本計画」に関すること
- ・福井県農林漁業賞（知事表彰）や各種農業賞の推薦
- ・市町からの要望等のとりまとめ



◎ある一日のスケジュール

8:30 業務開始、 メールチェック	10:00 「新ふくいの農業 基本計画」進捗状 況のとりまとめ	12:00 昼休み	13:00 出先機関と打ち合 わせ	14:00 福井県農林漁業賞 審査会の準備	17:15 業務終了
--------------------------	--	--------------	-------------------------	-----------------------------	---------------

◎福井県職員を志望した理由

大学・大学院で学んだ農芸化学の知識を活かせるような職業に就きたいと考えていました。初めは、農薬メーカーに絞って就職活動を行おうと考えていましたが、幅広い仕事をしてみたいと思い、県職員を選びました。

◎仕事をはじめて感じていること

採用されて初めての勤務地は、出先機関である奥越農林総合事務所でした。配属直後から、知識も経験も少ないまま、農業者に技術指導・支援することは大変困難でした。しかし、職場の上司や関係機関の方から、アドバイスやフォローをいただくことで、少しずつ業務に慣れました。農業者から「ありがとう」「助かった」と感謝されると、この仕事を選んでよかったと感じます。現在は県庁に異動しましたが、農業者などの現場の声を政策に反映できるように、業務に努めていきたいです。

◎魅力・やりがい

普及指導員の業務は、農業者に栽培技術や経営について指導するだけでなく、法人化や6次産業化、鳥獣害対策、農作業の広域連携など、農業者を支援する内容は幅広いです。そのため、勉強することは膨大ですが、農業者から「毎日お疲れ様。頑張ってるね。」「井上さんがいてくれてよかった。ありがとう。」と感謝されると、県民の期待に応え、地域農業の活性化に貢献したいと強く思います。

農林水産部政策推進グループに配属されてからは、直接農業者の声を聴く機会は減りましたが、新しい福井県の農業基本計画の策定に向けて、農業における課題を解決しながら、産業振興と地域振興の両面から福井県の持続可能な発展に携わっていることにやりがいを感じています。

◎採用試験対策

農学分野の専門試験対策として、市販の問題集を繰り返し解きました。解らないところは、大学の講義資料や専門書を読み、覚えしました。専門分野の勉強をメインに、一般教養にはあまり時間をかけませんでした。

◎後輩たちへ一言

農学職は、福井県の農業の政策立案や普及指導員として農業者に指導・支援するだけでなく、品種開発や栽培技術等の研究など、幅広い分野で福井県の農業に貢献することができます。また、様々な知識・経験を培いながら、福井県の農業の活性化を推進することができる、とてもやりがいのある仕事です。